

【作家研究・文学評論・戦後文学史】

「安部公房の〈戦後〉」

～植民地経験と初期テクストをめぐって

呉 美姫(オ・ミチョン)著

四六判 256頁 定価 2625円(税込)

ISBN978-4-906681-33-4 C0095



安部公房像への異議申し立て

作家にとっての〈満洲経験〉＝植民地経験と〈戦後日本〉＝アメリカ体験に真正面に向きあい、これまでの安部公房像の〈書き換え〉を迫る意欲的な試み。

戦後文学において特異な位置を占める作家の〈表現の原点〉を、作品分析だけでなく、当時の文学史の中に置き直すことで切り開いた**安部公房研究の新境地**。

目次より

第1章

故郷・辺境・植民地

第2章

戦中から戦後へ

第3章

戦後表象としての
メタモルフォーゼ

第4章

国民文学とアメリカ
の表象

第5章

ルポルタージュから
ドキュメンタリーへ

第6章

東欧から見た日本

第7章

反転する引揚者の物語

第8章

〈戦後〉的パラダイム
の終焉

補論

クレオールの子

【本書で取り上げる作品】

『終りし道の標べに』『名もなき夜のために』

『壁』『闖入者』『東欧に行く』

『けものたちは故郷をめざす』『砂の女』

etc

呉 美姫(オ・ミチョン)

◎ 1970年、韓国の慶州市に生まれる。1992年、韓国高麗大学校卒業。2004年、東京大学大学院博士課程修了。高麗大学校、東京大学客員研究員などを経て、現在、韓国・ハンシン大学校教員。専攻は日本近現代文学。

図書出版 **クレイン**

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-32-9 TEL 0422-28-7780 FAX 0422-28-7781

申	(送+正00525円外)自付 ——— 増収版経験と初期テクニクをめぐって	書店名	注文書
	安部公房の〈戦後〉		
	クレイン		